

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		東医臨床実技Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	5階実技室
担 当 教 員		花原 容成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
この授業を通じて応用臨床の鍼術・灸術を学ぶ。 経絡経穴の穴性を学び、これまでに学習した技術についてまとめ、使いこなせるようにする。							
《成績評価の方法と基準》							
1. 定期試験:100 %							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書:『新版 経絡経穴概論 第2版』(医道の日本社)							
《授業外における学習方法》							
予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読。							
《履修に当たっての留意点》							
卒業後、患者様を診る上で、最も大切なことは「安全」です。鍼灸治療も方法を誤れば重大な問題に発展します。鍼術では特に「気胸」、灸術では「熱傷(やけど)」が問題です。何事も基本が大事ですので、安全な技術が修得されているかもチェックしていきます。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の太陰肺経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。		教科書	シラバスの確認。講義予定部分の教科書の確認。	
		各コマにおける授業予定	手の太陰肺経				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の陽明大腸経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。		教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。	
		各コマにおける授業予定	手の陽明大腸経				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の陽明胃経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。		教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。	
		各コマにおける授業予定	足の陽明胃経				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の太陰脾経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。		教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。	
		各コマにおける授業予定	足の太陰脾経				
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の少陰心経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。		教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。	
		各コマにおける授業予定	手の少陰心経				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の太陽小腸経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	手の太陽小腸経		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の太陽膀胱経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	足の太陽膀胱経①		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の太陽膀胱経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	足の太陽膀胱経②		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の少陰腎経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	足の少陰腎経		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の厥陰心包経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	手の厥陰心包経		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の少陽三焦経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	手の少陽三焦経		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の少陽胆経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	足の少陽胆経		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の厥陰肝経の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	足の厥陰肝経		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	奇経八脈の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	奇経八脈		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	経絡経穴の体表観察→診断→治療→フィードバックができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。イメージトレーニング。
		各コマにおける授業予定	総括		